

平成29年度事業報告書

特定非営利法人 神戸西助け合いネットワーク

1. 活動の成果

当事業所は、須磨ニュータウンを拠点とし、地域の方々のさまざまな暮らしのサポートをしてきて、平成29年度で満22年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜と深く感謝いたしております。

私たちの神戸西助け合いネットワークは、生活支援事業としての「何でも110番」を中心にリサイクル事業・地球環境事業（太陽光発電・てんぷら油再生・発泡スチロール回収）を行う「神戸西助け合いネットワーク本部」、介護保険による訪問介護等の「介護ステーション たすけあい」、福祉用具販売・貸与事業を行う「福祉用具」、障がい者の作業所「就労継続支援B型作業所 たすけあい」、及び神戸市委託による「リサイクル工房あづま」の5つの事業部で成り立っております。それぞれに成果も上向いており、依頼される皆さまに喜んで頂ける各事業と育ってきております。



2. 非営利活動に係る事業

(1) 地域の方々の生活をお手伝いする「何でも110番」事業

110番事業の内訳は「剪定・草刈」「家財の引取」「引越し」「障子・網戸の張替え」「その他」です。「その他」は「電球交換」「水道パッキン取替」「ペンキ塗り」「家の補修」等々、様々ですが、本年度は団地自治会からの依頼で、ゴミステーション制作、防犯カメラ設置（支柱新設・100V引き込み工事含む）、個人宅のお庭にウッドデッキの設置等、新たに挑戦した事業もありました。29年度の110番受注総件数は580件となり、最も多いのは「剪定・草刈」で182件でした。依頼者は個人宅及び団地等の自治会です。次に多いのは「家財の引取り処分」で、29年度は110件でした。高齢者の方が施設に入られた後の家財処分、子どもとの同居を余儀されなくなった高齢者の引越しによる家財処分、亡くなられた方の家財一式処分等々、まるで世相を映す鏡のような事業ではないかと考えさせられます。



「カラス除けゴミステーション」
既設のセメントで囲われたゴミステーションを利用してアングルを組み、ネットを張って、アルミ製のスライド扉を付けました。以降、カラスによるゴミの散乱が無くなりました。



「ウッドデッキ設置」
アマゾンジャラという南米産のとても硬い木材を使い、個人宅にウッドデッキを設置。人工木材にない本物の木肌の感触にユーザーもご満悦でした。

「団地自治会からの依頼による防犯カメラの設置」
ゴミの不法投棄に悩まされている自治会からの依頼により、支柱ポールを埋設し、高性能デジタルカメラを2台設置しました。カメラからレコーダーまで100mという距離でしたが、綺麗に映っています。



(2) リサイクル事業

「何でも 110 番」による、引取り処分品の中からまだまだ使える品を綺麗に清掃し、リサイクル品として地域の皆さまに再利用して頂いております。ただ、最近は核家族化により大型家具等が好まれなくなってきたのではないかと考えられます。これも時代の流れかとも考えます。

(3) 地球環境支援事業 28 年度実績

- ・太陽光発電 発電量 9,918.6 kw/h 売電量 4,929kw/h (118,296 円)
- ・使用済み天ぷら油回収 (主に各地の食堂や団地に設置された回収箱から) 2,974 ℓ
回収した廃油は当法人敷地内にて精製、バイオディーゼル燃料化の上、2tトラックに自家使用しておりますがトラックは、トラブルなく順調に走行しております。
- ・発泡スチロール回収 本年度、当法人の HP をリニューアルした効果が現れ、問い合わせ件数が増え、発泡の持ち込み数も増加しました。また、買取業者 (輸出業者) からメールや電話での問い合わせがかかってくるようになりました。
※29 年度発泡スチロール再生ブロック総出荷量 10.12 t
※CO₂ 削減効果 11.031 t-CO₂

(4) 自治会等の支援活動

「妙法寺川さくらまつり」に始まり、各自治会の夏祭りイベント機材一式や年末の餅つき等に使用する機材の貸し出し等を行いました。件数は 25 件でした。

(5) 就労継続支援 B 型作業所

平成 27 年度に開設しました B 型作業所ですが、本年度末には利用者さんが 9 名まで増えました。定員 20 名ですので、募集の継続を引き続き行います。30 年度には、OM こうべとの賃貸契約期間満了により作業所の移転となります。移設先は、助け合いネットワーク本部事務所内リサイクル工房建屋となります。

(6) 高齢者、障がい者の方の外出をお手伝いする移送サービス

自家用自動車有償運送事業として 3 台の専用車で利用者を病院などへの送迎を行っています。本年度は 382 件の利用がありました。また、「一般乗用旅客自動車運送事業」(介護タクシー) は、神戸市のタクシー利用券を 202 枚使用していただき、障がい者の利便性を図ることができました。

(7) 介護サービス事業

事業内容「訪問介護」「介護予防訪問介護」「居宅介護」「重度訪問介護」「移動支援」「同行援護」

訪問介護利用者 20 名

障害利用者 9 名

ヘルパー 20 名

事業所が垂水地区 (名谷町向畑) にあるため、須磨区の情報が入りにくいという面がありますので、何か方策を練らねばならないと考えております。

(8) 福祉用具販売及び貸与事業

福祉用具関連として、「福祉用具貸与」「介護予防福祉用具貸与」「特定福祉用具販売」「特定介護予防福祉用具販売」の各種事業を展開。問題としては、利用者を紹介して貰えるルート開拓ではないかと考えています。

(9) リサイクル工房あづまの神戸市委託運営管理事業

神戸市からの委託事業リサイクル工房あづまは、ゴミの減量資源化を推進するため、市民から子供用品を中心に不要になったものを受け入れし、必要な市民へ提供する業務を行っています。3R推進（リデュース「ゴミそのものを減らす」・リユース「何回も繰り返し使う」・リサイクル「分別して再び資源として利用する」）のための資源回収コーナーや展示板などの管理をはじめ、市民啓発事業として親子木工教室など年間約10企画を開催実施いたしました。

3. 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

- ① 理事会 平成29年4月25日
開催場所 神戸西助け合いネットワーク
議事内容 平成28年度 事業報告 収支決算について
平成29年度 事業計画 収支予算案について
役員改選について
- ② 通常総会 平成29年5月19日
開催場所 神戸西助け合いネットワーク
議事内容 平成28年度 事業報告 収支決算について
平成29年度 事業計画 収支予算案について
役員改選について

(2) 事務局体制

事務局長 藤井 義隆 副事務局長 吉岡 良成 事務職員 萩尾 久江

(3) 会員

- ① 正会員 38名
- ② 賛助会員 20名

(4) 各事業部体制

- ① 神戸西助け合いネットワーク
 - ・理事長 在里 俊一
 - ・職員 7名
 - ・ボランティア 20名
 - ・「何でも110番」・「リサイクル工房」「天ぷら油・発泡スチロール再生事業」など
 - ・常時15名ぐらいが参加して、1日6時間で月20日程度の稼働。
- ② 神戸西助け合いネットワーク 南部事務所
 - ・責任者 本岡 美智子
 - ・職員 7名
 - ・神戸市より委託事業（リサイクル工房あづまの管理責任者）
- ③ 介護ステーション たすけあい 訪問介護事業
 - ・管理者およびサービス提供責任者 横山 和代
 - ・ヘルパー 20名
- ④ 介護ステーション たすけあい 福祉用具事業
 - ・管理者およびサービス提供責任者 在里 俊一
 - ・職員 2名
- ⑤ 作業所 たすけあい 就労継続支援B型事業
 - ・管理者およびサービス提供責任者 勢田 祐造
 - ・職員 3名